

令和6年度 第2回厚木市地域公共交通会議 概要

開催日時	令和7年3月21日（金）午前10時00分～11時10分
開催場所	厚木市役所第二庁舎 農業委員会会議室
出席委員数	12人（全16人中）
傍聴者数	5人
会議の経過	<p>1 開会 事務局</p> <p>2 あいさつ 会長</p> <p>3 報告</p> <p>(1) モビリティサービス共創事業について 《資料に基づき事務局が説明》</p> <p>【内容】</p> <p>令和7年度新規事業として、市内での「人」や「もの」の移動に際し生じる諸課題について、地元企業である日産自動車株と共創・協働し、将来のモビリティサービスの在り方等について共同研究を行う。</p> <p>【主な意見】</p> <p>(委員)</p> <p>交通事業者との連携とあるが、何か具体的なイメージなどがあるのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>人、物の移動に関して、進めていくに当たり、公共交通事業者との連携は不可欠であると考えている。進捗あり次第、改めて説明を行う。</p> <p>(委員)</p> <p>単年度事業になっているようだが、複数年やっていくのか、ゴールのイメージなどがあるのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>令和7年度に課題の抽出、課題の絞り込みを行っていく予定。 最終的なゴールは、今後検討していく。</p> <p>(2) シェアサイクルについて 《資料に基づき事務局が説明》</p> <p>【内容】</p> <p>国において令和3年5月に策定された第2次自転車活用推進計画では、目標の一つである「自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形</p>

	<p>成」に向けて、都市部を中心とした道路交通の円滑化等を図ることとしており、その取組として、シェアサイクルの普及を促進することとしている。</p> <p>これを踏まえ、本市では、令和5年3月策定の「厚木市自転車活用推進計画」において、自転車を個人で所有しないことによる資源の効率的な活用や、二酸化炭素の排出量削減へつなげるため、環境負荷の少ない自転車を共有して利用するシェアサイクル等の取組を進めることを報告。</p> <p>【意見なし】</p> <p>(3) かなちゃん手形について（神奈川中央交通） ≪資料に基づき事務局が説明≫</p> <p>【内容】</p> <p>神奈川中央交通株式会社が発売している69歳以上を対象とした、乗車券「かなちゃん手形」について、キャッシュレス化およびデジタル化を推進する目的として、令和7年3月10日（月）から交通系ICカードを用いたフリーパスタイプ（定期券方式）の「かなちゃんパス」が新たに発売された。</p> <p>これに伴い、現在発売中の1乗車につき現金100円にて乗車出来る、紙製のかなちゃん手形の発売は、令和7年6月21日～8月31日の発売期間をもって終了となること報告。</p> <p>【主な意見】 (委員)</p> <p>新制度のかなちゃんパスの値段設定については、かなちゃん手形購入時のアンケート調査結果や、利用実績をもとに金額を設定している。</p> <p>現在、神奈中で扱っている現金の多くが、かなちゃん手形で支払われる100円となっており、完全キャッシュレス化を目指していく中でかなちゃん手形のIC化が必要になるため、理解いただきたい。</p> <p>4 議題</p> <p>(1) 薦尾、まつかけ台・みはる野地域コミュニティ交通「ココモ」の令和7年度運行計画等について … 【承認】 ≪資料に基づき事務局が説明≫</p> <p>【内容】</p> <p>令和6年度現状について、薦尾ルートは、1日当たりの平均利用者人数が21.3人であり、目標値である1日当たり20人を達成しているが、まつかけ台・みはる野ルートは、1日当たり19.8人であり、目標値わずかに届かないという結果になっている。</p> <p>令和7年度以降の運行について、地元の運営協議会と協議しながら、3</p>
--	--

	<p>点について検討を進めている。</p> <p>① 時刻表の変更について 利用者から「買い物する時間にゆとりが欲しい」といった意見が多数あったため、令和7年10月頃、時刻表の変更を行う予定</p> <p>② バスロケーションシステムの廃止について 機器の不具合、アクセス数（月平均32回）、維持費等を鑑みて3月をもって機器を廃止する。</p> <p>③ 運賃改定について 運行経費の高騰、周辺地域との平等性等を鑑みて運賃改定を検討する。</p> <p>【主な意見】</p> <p>(委員) 「ココモ」の運行について、タクシー事業者が受託しているが、利用者から意見や苦情等はないか。</p> <p>(事務局) 特にありません。 乗り降りに時間がかかるてしまい時刻表通りに進めないということはありますので、そこは10月の時刻改正を伴って見直しを図って参ります。</p> <p>(委員) 利用者数の増加を目標にさしているとおもうが、今回運賃値上げとなると、利用人数が減るのではと想像される、これは、目標としている利用者数の増加よりも今回は収支率の改善を優先して値上げをするということか。</p> <p>(事務局) コミュニティ交通は、収支ではなくて福祉施策的な要素も多く含んでいるため、収支率というより利用者観点が重要だと考えるが、昨今の社会情勢、他市町村の状況などから平等性というのを見ながら検討が必要と考える。金額についても、引き続き運行協議会と検討していく。</p> <p>(2) 森の里地区コミュニティ交通「森の里ぐるっと」の令和7年度運行計画等について … 【承認】 《資料に基づき事務局が説明》</p> <p>【内容】 令和6年度の現状について、今年度の利用者数の目標は年間4,000人で、ひと月当たり約334人を設定しているが、1月末現在で利用者数は合</p>
--	--

	<p>計3,879人となっており、月ごとの利用者数を見ると、目標値を超えている状況である。</p> <p>令和7年度の運行予定について、運行日は、153日1,224便を予定しており加えて臨時便の運行を17日、117便を予定している。</p> <p>臨時便については、通常運行日以外で地域のイベントや選挙投票日等に運行する。</p> <p>運行ルート変更について、利用者の意見などを踏まえて森の里1丁目及び2丁目の一部、森の里5丁目のルートを4月1日から変更する。</p> <p>時刻表の変更について、ルート変更に伴い同じく4月1日から時刻表を変更するもの。</p> <p>【主な意見】</p> <p>(委員)</p> <p>地域のイベントや選挙投票日の運行は良い取り組みだと思うので、今回のように、年間計画を会議で提示してもらい承認を受けることを引き続きやってもらいたい。</p> <p>(事務局)</p> <p>今後は、手続きにのっとって進めていく。</p> <p>(委員)</p> <p>令和7年の年間利用者数の目標はあるのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>来年度の目標については、協議会とまだ詰めていないため、いただいた意見を参考に協議設定し、次回会議でお知らせする。</p> <p>(3) 宮の里地区・上依知地区におけるコミュニティ交通の取り組みについて … 【承認】</p> <p>«資料に基づき事務局が説明»</p> <p>【内容】</p> <p>○勉強会実施状況</p> <p>(宮の里地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1回目 実施済み コミュニティ交通とは 2回目 実施済み 地域の課題抽出のためのワークショップ 3回目 実施予定 <p>(上依知地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1回目 実施済み コミュニティ交通とは 2回目 実施予定 ワークショップ 3回目 実施予定 <p>勉強会での意見のまとめとして、どちらの地域も将来、車が運転できな</p>
--	---

くなったときの不安感から、コミュニティ交通の導入要望が多数あるが、高齢化率が高くコミュニティ交通を自前で運営することは現状難しいといった意見があった。

今後の課題として、コミュニティ交通を継続して運行するためには、地域住民に愛着を持ってもらい、多くの方に利用してもらう必要がある。

そのためには、地域特性や住民ニーズに合った運行系統を検討する必要があり、また、地域自らが主体となり支え合う仕組みづくりが必要となることから、人材育成が課題だと考える

今後の予定について、第3回勉強会以降では、移動課題に対する解決策を地域住民とともに整備し、地域自らが主体となり支え合う仕組みづくりや、その地域に適合する運行形態について検証し、コミュニティ交通導入の可能性について検討していく。

【主な意見】

(委員)

高齢者対象のタクシー助成券は、今年度補助を拡大しているので、コミュニティ交通だけでなく、そういうものを積極的に利用してもらいたい。

(事務局)

勉強会は、コミュニティ交通導入を前提に行っているわけではなく、まずは既存の公共交通を使ってもらい、足りない部分をコミュニティ交通等補う、そういう考え方で進めている。

(委員)

どのくらいのスケジュールを考えているのか

(事務局)

令和7年度の夏ごろを目途に、両地区とも方向性を出したいと考えている。

5 閉 会

事務局